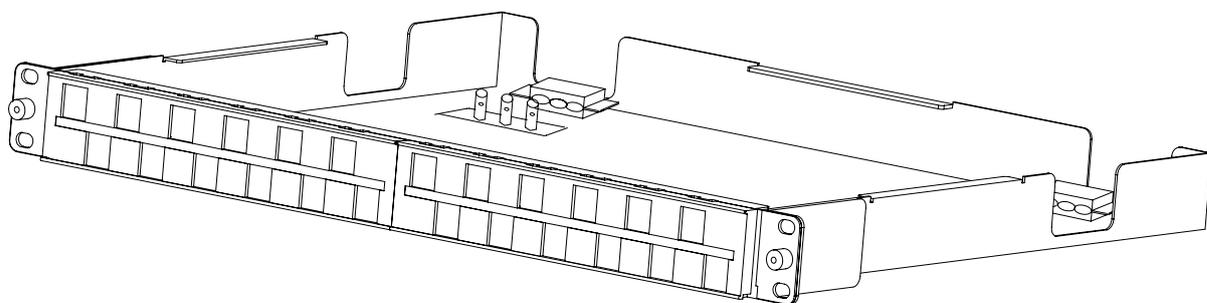


CM78-1201 R2.0

# ユニバーサルパネル取扱説明書



<製品お問い合わせ先>

東京通信機工業株式会社

東京営業部 TEL :03-3447-2421

FAX :03-3447-0426

大阪営業所 TEL :06-4805-6580

FAX :06-4805-6585

●.添付品

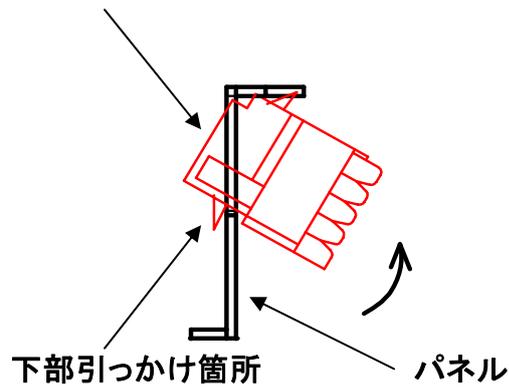
【品名】	【数量】	【用途】
M5 ねじ	4	ラック取付用
ローレットつまみ	2	パネル取付用
カバー	2	パネル搭載用
ワイヤーサドル	4	
【下記のものは要求数により添付品とします。】		
RJ45 モジュージャック Cat5e	最大24個	色: 赤、青、黒、白
RJ45 モジュージャック Cat6	最大24個	
OP 取付アダプタ(SC アダプタ)	最大24個	
OP 取付アダプタ(E2000 アダプタ)	最大24個	
OP 取付アダプタ(SC-E2000 変換アダプタ)	最大24個	
融着トレイ (1段 12芯)	1	
融着トレイ (2段 24芯)	1	
融着スリーブ	12or24	
スリーブホルダー	2or4	
M4 ねじ	2	融着トレイ取付用
天板	4	トレイ上部覆い板

● RJ45 モジュージャック及び OP 取付アダプタの取付方

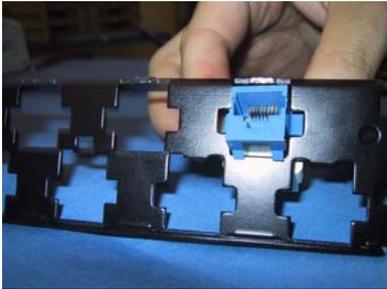
下図に示すようにモジュージャックの下部引っ掛け箇所をパネルの窓枠下に引っ掛け、そのまま窓に固定するまで持ち上げるように押し込みます。

(パネルの上下の向きは図の方向とします。)

RJ45 モジュージャック



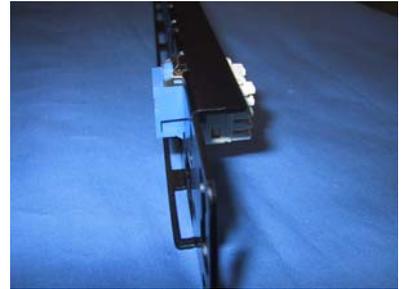
①



②



③



注)モジュラー取付は必ずパネルの上段から行って下さい。

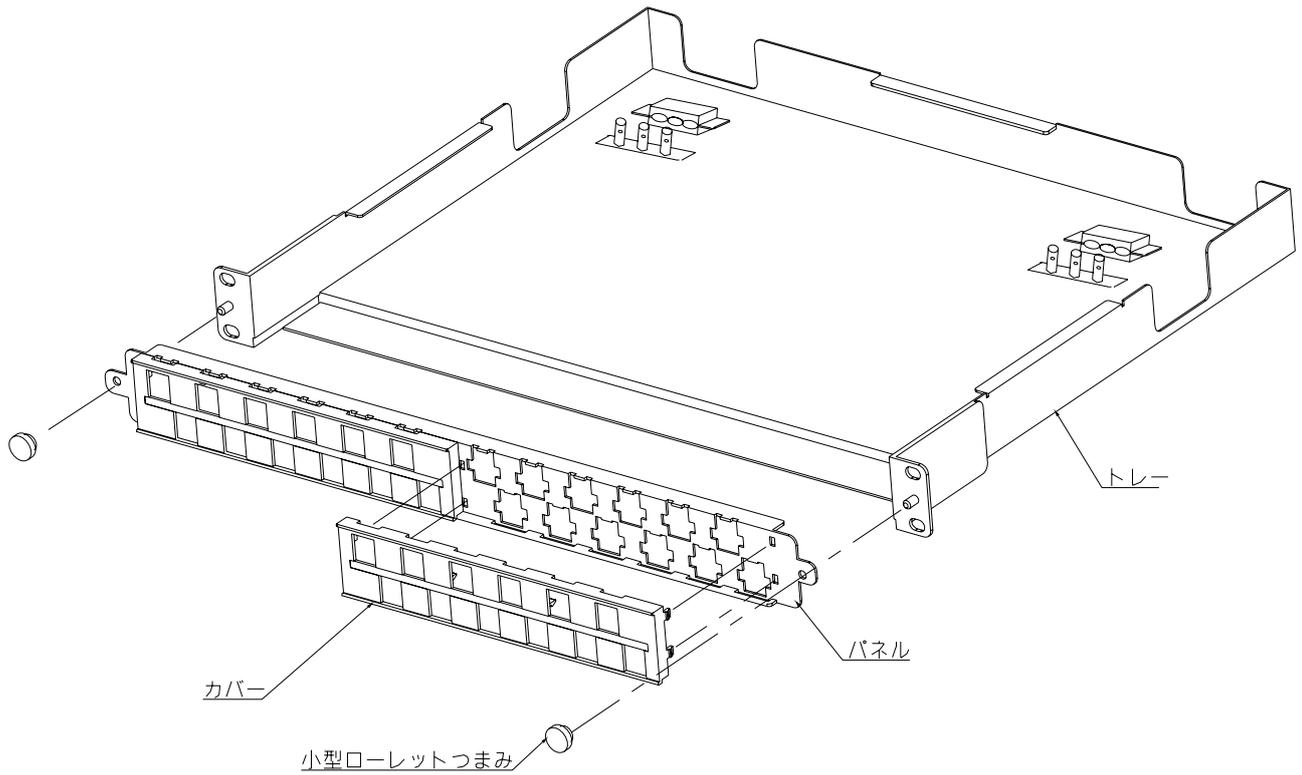
下段側を先に取り付けると隣接する上段側の取付が出来ません。

また取り外しの際は取付とは逆に必ず下段から行って下さい。

なお RJ45cat5e タイプのモジュージャックの取り外しは、モジュージャックの上部の引っ掛け箇所(バネ)をドライバー等で押し込んで行って下さい。

● パネル、トレーの組み合わせ方法

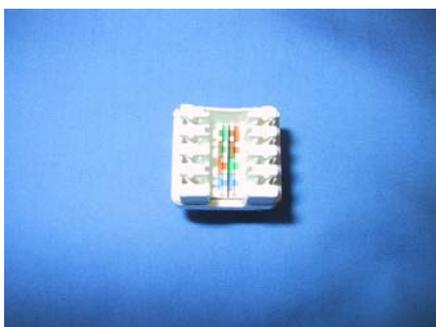
- ① カバーのツメ部をパネルの取付穴に合わせて押し込み、パネルにカバーを取り付けます。
- ② 次にトレーの取付ネジ部にパネル穴を合わせます。(パネルの上下は図の向きで行います。)
- ③ ローレットつまみ(雌ねじ)で合わせたパネルとトレーを固定します。



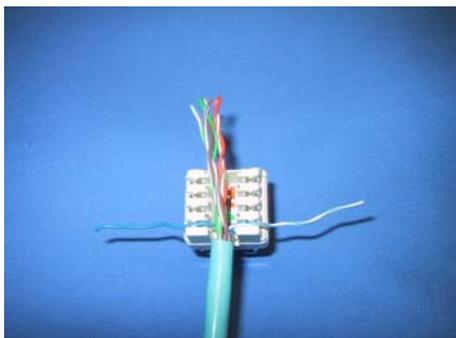
## RJ45 モジュラージャック Cat5e 結線方法 (KRONE 端子)



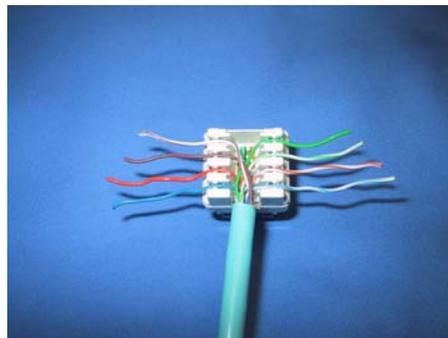
- ① UTP ケーブルの被覆を50mm ほど除去します。



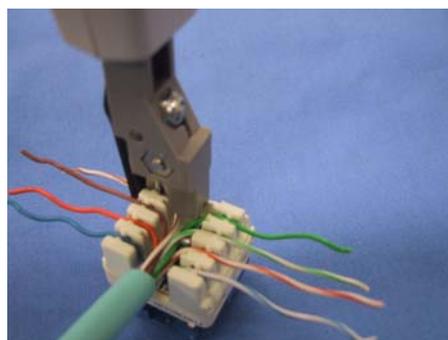
- ② 結線部の 568A、568B のカラーコードを確認します。



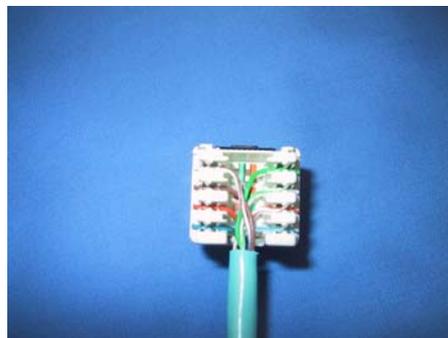
- ③ カラーコードの指示に従ってケーブルを各スロットに差し込みます。  
\* 13mm 以上撚り戻さないようにしてください。



- ④ すべてのスロットにケーブルを差し込みます。  
\* カラーコードは間違っていないか及びケーブルの撚り戻しすぎがないかを確認します。



- ⑤ ジャックを平らなところに固定し、クローネ端子にはクローネ接続工具で真上からカッターをスロットの外側に向けて押し込みます。  
\* カチッとショックが伝わったら接続できております。

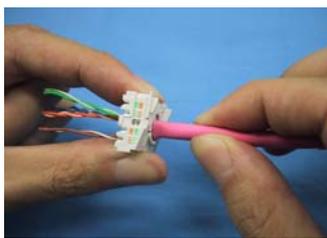


- ⑥ 同じように全てのスロットを接続したら完成です。

## RJ45 モジュージャック Cat6 結線方法 (KRONE 端子)



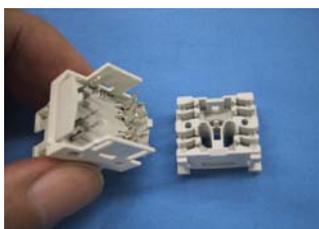
①ジャック本体(ケーブルマネージャーを含む)とコネクタクリップ(同梱・ブルー)およびニッパー、ターミネーションツールを用意します。



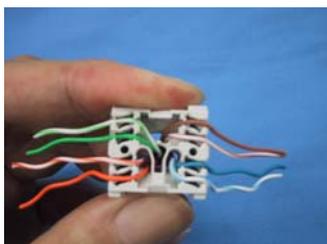
⑤ジャケットの端がケーブルマネージャーにつくまで、ケーブルをしっかり差し込みます。



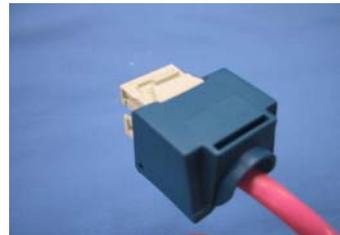
⑨コネクタクリップをケーブルマネージャーと本体の上にかぶせ、カッチッと音がするまで上から下へスライドさせながら押し込みます。



②ジャック本体からケーブルマネージャーを取り外します。



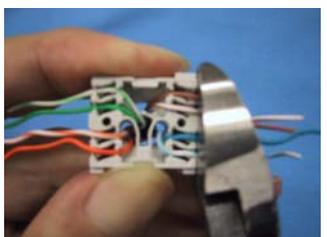
⑥各ペアの撚りをできるだけ最後まで保ちながら、ケーブルをケーブルガイドの上から押し込みます。(側面のカラーコードと一致しているか確認してください。)



⑩以上で作業完了です。ジャックのコネクタに8ワイヤすべてがきちんと結線されています。



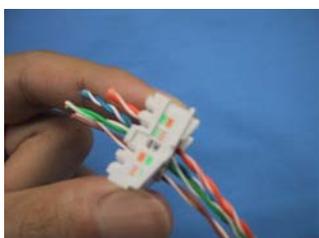
③ケーブルマネージャーの側面にあるカラーコードを確認します。568A/568Bのどちらにも対応しています。



⑦ケーブルマネージャーにそって余分なケーブルをニッパーで切り落とします。



⑪コネクタクリップの取り外しは、小さなドライバーを使って簡単にできます。



④側面のカラーコードにしたがってケーブルマネージャーの導入口に各ペアごとにケーブルを差し込みます。  
(パッケージの取扱い説明書を参照)



⑧本体とケーブルマネージャーの矢印を合わせ、ターミネーションツールにて仮圧入します。



⑫コネクタクリップをはずした状態でパネルにはめ込みます。